



4/1 新たな行政の担い手に。新職員辞令交付式

温かい日が差し込める新年度初日、新たに41人の職員が辞令を受け、この春から市の職員として業務を担います。

新職員を代表して黒島佳代さんは「市の職員として第一歩を踏み出せたことを光栄に思う。期待される役割もますます大きくなっており、私たちはその期待に応えられるよう、地域の皆さまと協力し合いながら、誰もが暮らしやすいまちづくりを目指し、浦添市の発展に尽力していきたい」と力強くあいさつしました。新規採用職員は、2週間ほどの研修期間のあと、各々の部署に配属され、それぞれの職務を全うします。



4/5 子どもを守る!交通安全運動出発式

4月6日から15日までの10日間、「わたるまえ わすれずかくにん みぎひだり」をスローガンに「春の全国交通安全運動」が全国一斉に実施されました。

全国共通の目標として「こどもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践」、「歩行者優先意識の徹底と『思いやり・ゆずり合い』運動の励行」、「自転車・電動キックボード等利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守」を挙げています。

浦添市役所で行われた出発式には、自治会長や浦添市交通安全母の会、浦添市交通安全指導員などが参加し、交通安全運動を呼びかけました。



3/23 第23回まちプラ助成団体 成果報告会

市民の自主的なまちづくりを支援する「まちづくりプラン助成金」の交付を受けた3団体の成果報告会が、ハーモニーセンターで行われました。今回は、浦添市から看取りの新しい文化が根付くような活動を行う「看取り沖縄」、屋富祖大通りの歴史の変遷を写真や動画で未来に残す活動を行う「屋富祖区再発見実行委員会」、「認・食・防」の3つのテーマに関する知見を得て、浦添市に優しさが波及していく活動を行う「WAKIMIZU」3団体が交付を受けました。松本市長は「事業の主旨に賛同し協力いただいた人へ、心から感謝を申し上げます」とあいさつし、参加者からは「活動の成果を発表できる場所があると、まちづくりが活気付く」「どの団体も地域密着でよかった」との声があり、熱意と笑顔に溢れた会となりました。



3/24 みんなで楽しく学ぶプログラミングイベント

「デジタル人材育成事業」でプログラミングやロボット技術を学んだ、小中学生と高校生の最終報告会としてロボット＆プログラミングの体験イベントが開催されました。最終報告会では、受講者が1年間チャレンジしたことや学んだことの発表が行われ、司会進行も全て子どもたちが担当しました。参加した與那覇湊介君(小4)は、オリジナルゲーム制作を通しての学びや、困難だったことについて発表しました。

また、松本市長とロボットプログラミング対決も行われ、ロボットプログラミングの楽しさと難しさをみんなで体験・共有し、会場は盛り上がりを見せました。



R6年能登半島地震 義援金のご報告とお礼

浦添市では、令和6年能登半島地震によって被災された輪島市を支援するため、義援金の呼びかけを行っております。

この度、市民、市内小中学校や美術館の来館者など、多くの皆さまからお寄せいただいた義援金2,701,802円を輪島市の「能登半島地震輪島市義援金口座」に送金させていただきました。皆さまの温かいご支援、ご協力に感謝申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

引き続き、浦添市美術館では令和6年12月28日まで義援金の受け付けと、輪島市支援の企画展を開催しています。



3/20 もっと知ろう!モノレール乗車体験♪

モノレールの魅力を感じてもらうことを目的として「沖縄都市モノレールファミリーイベント2024」が、てだこ浦西駅で開催されました。

市内の小・中学生と保護者約30組が参加し、モノレール乗り方教室や工作車(点検車)の乗車体験、公共交通の環境学習を通して、公共交通機関を利用することで環境やまちづくりにどのような効果があるのかなどを学びました。参加した子どもたちは「こんなに近くでモノレールを見るのは初めて!」と嬉しそうな表情を浮かべ、受け取った切符を笑顔で見せてくれました。イベントの最後には、貸し切りの車両でモノレールクイズを楽しみながら、那覇空港駅までの道のりを満喫しました。

＼ 話題がいっぱい /

なかゆくい

市内各地で行われたイベントや、まちの話題をお届けします。ここで“なかゆくい”しませんか。(なかゆくい＝ひと休み)

市ホームページ「うらそえトピックス」にも市内のできごとを紹介しています。



3/20 初出場の舞台で見事な銀メダル!

市内で活動するチアダンスチーム「^{キイトス}Kiitos cheerdance team♡PINK♡」に所属する11人(小学1～5年生)が、3月20日にAsueアリーナ大阪(大阪府)で開催されたDance Challenge Cupに初出場し、見事銀メダルを獲得しました。

各自でカラフルなポンポンを持ち、ポンポンの視覚的効果とダンスを融合した演技が評価されるChallenge Pom部門に挑戦し、堂々と演技を披露しました。今回の大会について、チームの講師を務める小暮さんは「上級生も多い中で銀メダルを頂くことができた。初出場で見事な演技だったと多くの人に褒めていただけた」と振り返りました。